

2017.5.13 集会

講演

「憲法 24 条と家制度、婚外子差別」

講師 齋藤 美奈子さん (文芸評論家)

※終了後デモを行います

自民党は、個人の尊重を規定する憲法 13 条や、法の下での平等を規定した 14 条とともに、憲法 24 条を改憲し、社会の基礎を個人から、戦前のように家父長中心の家族に戻そうとねらっています。そのための布石として、「家庭教育支援法案」の提出を目指しています。戦前、戸主の同意がなければ結婚もできず、女性は自分の子どもの親権も持てず、重要な法律行為は夫の同意がないとできないという戸主権と夫権絶対の家制度下におかれていましたが、戦後、個人の尊厳を規定する憲法 24 条によって、このような抑圧や屈辱から解放されました。

しかし、今これらが奪われようとしている中で、『憲法 24 条と家制度、婚外子差別』について、文芸評論家の齋藤美奈子さんにお話をさせていただきます。笑い満載の中から、鋭く問題をえぐり出すような講演になること間違いありません。

集会では、世田谷区役所の出張所窓口でおきた婚外子差別事件の報告も行います。

*集会終了後、デモ (40 分) を行い、婚外子差別撤廃! 嫡出概念廃止! とアピールしていきます。太鼓や鈴など、打楽器をお持ちください!

■資料代: 800 円

日時: **5 月 13 日** (土曜日) 午後 1 時 30 分~4 時 45 分 (開場 1:15)

会場: **神宮前穂田区民会館 (集会場)**

(裏面に地図あり。JR 原宿駅徒歩 6 分 東京メトロ千代田線・明治神宮前駅 徒歩 2 分)

主催: **なくそう戸籍と婚外子差別・交流会**

問合せ先: **kouryu2-kai@ac.auone-net.jp**

取次先 tel/fax: **0 4 2 2 - 9 0 - 3 6 9 8** (留守電対応)

齋藤 美奈子さん (文芸評論家)

◆プロフィールと主な著書

児童書等の編集者を経て、1994年『妊娠小説』(ちくま文庫)で文芸評論家としてデビュー。

- ・『文章読本さん江』(筑摩書房2002年/ちくま文庫)で第1回小林秀雄賞を受賞。
- ・現在、朝日新聞書評委員。東京新聞「本音のコラム」など執筆、

『冠婚葬祭のひみつ』(岩波新書2006年)、『たまには、時事ネタ』(中央公論新社2007年)

『それってどうなの主義』(文春文庫2010年)、

『本の本 1994-2007』(筑摩書房2008年) ※2012年文庫化

『ふたたび、時事ネタ』(中央公論新社2010年)

『月夜にランタン』(筑摩書房2010年)

『名作うしろ読み』(中央公論新社2013年) ※2016年文庫化

『ニッポン沈没』(筑摩書房2015年)

『名作うしろ読み プレミアム』(中央公論新社2016年)

『学校が教えないほんとうの政治の話』(ちくまプリマー新書2016年)

『文庫解説ワンダーランド』(岩波新書2017年) など多数。



神宮前 穂田区民会館 案内図

○JR山手線「原宿駅」表参道口 6分

○東京メトロ千代田線「明治神宮前<原宿>駅」4番出口 2分

○副都心線「明治神宮<原宿>駅」7番出口 すぐ裏